

# 第36回 埼玉障害児教育研究集会

2018年  
2月3日  
SAT.  
10:00~16:30

埼玉教育会館  
(浦和駅より徒歩10分)

《主催》

埼玉県教職員組合 障害児教育部

埼玉県高等学校教職員組合 障害児教育部

さいたま教育文化研究所 障害児教育研究委員会

【連絡先】

埼玉県高等学校教職員組合 牧野浩

TEL: 048-822-7421

E-mail: makino@saikokyo.or.jp

参加費：無料  
どなたでも参加できます



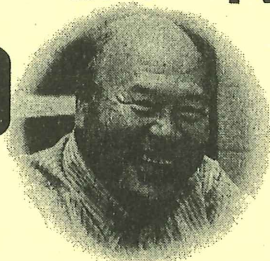
全体会

## 子どもの「困り感・ねがい」から出発する教育

埼玉教育会館 2階

10:00~12:00

記念講演



講師：竹沢清さん

中部学院大学人間福祉学部 非常勤講師  
元愛知県障害児学校教諭

長年、愛知県の障害児学校で教員をされてきた竹沢先生の具体的な実践から、子どもの内面に寄り添い、子どもの「困り感・ねがい」から出発する教育について学びましょう。

著書：「子どもの真実に出会うとき」、「子どもが見えてくる実践の記録」、「教育実践は子ども発見」…等、多数

分科会

埼玉教育会館

13:15~16:00

【高等部の教育課程】 特別支援学校2校の高等部の報告と埼玉高教障教部が今年6月にまとめた討議資料「かがやく青春を大切に Part2 ~高等部教育を考える~」をもとに高等部の教育課程について考えます。

【子どものみかた・とらえかた】 特別支援学校の小学部や寄宿舎からのレポートをもとに、授業や生活の中で子ども内面をどうとらえ、理解し支援していくのかみんなで考えましょう。

【発達障害】 2018年度から試行される高校での通級のモデル校と特別支援学級からのレポートをもとに、特別支援学級と高校との繋がりや高校での通級で大切にしたいことなどを考えます。

【障害児学級の実践】 障害児学級からのレポートをもとに、子どもの内面に寄り添った授業づくりについて検討し、深めていきます。

【障害の重い子の実践】 肢体不自由と知的障害をあわせもつ障害の重い子どもの実践を通して、発達について学び、授業づくりについて考えます。